

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)TSA株式会社 鶴原倉庫 新	階数	地上2F
建設地	大阪府泉佐野市鶴原	構造	S造
用途地域	準工業地域、22条区域	平均居住人員	15人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2024年4月23日
敷地面積	4,680 m ²	作成者	汎設計 東
建築面積	1,463 m ²	確認日	2024年4月23日
延床面積	2,339 m ²	確認者	汎設計 田部



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
外観の色彩については、基調色に彩度を抑えた色を使用し、アクセント色に活気のある色を使用することで、周辺環境に調和させ、地域性の向上に努めた。		(特記事項無し)
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
有害物質の少ない建材を使用し、十分な換気に努め、室内空気汚染の低減に配慮した。	機械設備の更新が予想されるため、外部に面する開口部を大きく設けたり、躯体を触らずに仕上げが更新できるように配慮した。	周辺環境に配慮して、植栽を計画した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
外壁には銅板サドトイック材を使用する事で、熱損失の抑制に努めた。	自動水栓を採用する等、節水を考慮し、水資源保護に努めた。	駐車・駐輪スペースに配慮し、交通負荷の抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)TSA株式会社 鶴原倉庫 新築工事					
建設地		大阪府泉佐野市鶴原					
用途/区分		工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					5	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	断熱性能					5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外	
④	エネルギー消費性能					5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分			6		
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					5.0	5
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上					2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善					3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							